

2019 南関東支部 一年生大会 実施要領

2019.9.15

南関東支部 競技部長 須藤邦夫

- ・ 形 態
トーナメント形式とし、優勝、準優勝、三位チームを表彰する。三位決定戦は行なわない。
一年生が30名以上在籍するチームはA・B 2チームの出場を認める。
 - ・それぞれの選手を明確にするため選手登録書を作成し、予めブロック長の承認を受けておくこと。一年生が26名以上在籍するチームは当日のメンバー表登録選手25名の他、在籍1年生全員のベンチ入りを認める。
 - ・公式戦ユニフォーム着用。(26番以降背番号を付けることが望ましいが背番号なしでも良しとする。)
 - ・試合前のアップ・キャッチボール・シートノックの参加を認める。
 - ・試合には出場できない。(コーチも不可)選手少数チームの取り扱い
 - ・選手9名の試合出場が可能であれば、その試合は行なうことができる。
 - ・一年生の選手数が14名以下のチームについては、補助として4名以内のニ・三年生のベンチ入りを認める。(ただし登録選手、ニ・三年生と合わせてベンチに入れる選手は最大15名までとする)
 - ・ボールボーイ、バット引き、試合前のキャッチボール・トスバッティングの相手、ブルペン捕手に限り行なうことができる。
 - ・試合中の事故等により選手が8名以下となった時には、その時点で試合を打ち切る。
 - ・試合はその時点のスコアに関係なく、また試合が成立しているか否かにかかわらず、7-0で相手チームの勝利とする。
 - 個人記録は参考記録にとどめるが、勝利チームの投手の投球制限は次戦に引き継ぐものとする。他チーム選手応援チーム(他チームから選手を借りて出場するチーム)の取り扱い
 - ・母体チームに選手4名が在籍しており、他チームから借り入れた後の選手数が10名を超えないこと。
 - ・借り入れた選手を明確にするため選手登録書を作成し、予めブロック長の承認を受けておくこと。
- ・ 日 程
予備日を含め以下の通り。
10/13(日)、10/14(月・祝)、10/19(土)、10/20(日)、10/26(土)、10/27(日)、11/2(土)、11/3(日)、11/4(月・祝)、11/9(土)、11/10(日)、11/16(土)、11/17(日)
- ・ 標準試合開始時刻
第1試合 9時、第2試合 11時、第3試合 13時
- ・ 提供グラウンド
鶴見、横浜南、横浜旭、瀬谷、横浜泉、藤沢、厚木、平塚、小田原足柄、三島、富士、富士宮、静岡蒲原
- ・ 試合形式
試合は7回戦とし、5回終了を以って正式試合とする。
4回終了時10点差、5回終了時以降7点差以上の場合コールドゲームとする。
ただし、決勝戦はコールドゲームを適用しない。

試合は2時間制限試合とし、5回以降試合開始から2時間を超えては新しいイニングに入らず、制限時間に達した時点でのイニング(表裏)を最終回とし、そのイニング終了時点で同点の場合は、それ以降はタイブレーク方式を採用する。(4回終了以前に2時間が経過した場合でも試合が成立する5回終了まではそのまま継続して行なう)ただし、決勝戦は2時間制限試合を適用しない。

7回終了時同点の場合は、2時間以内であっても延長戦は行なわず タイブレーク方式に入る。
タイブレーク方式は3イニングまで継続するが、未決着の場合は抽選とする。
決勝戦は7回終了時同点の場合は延長9回まで行ない、9回終了時なお同点の場合は10回からタイブレーク方式に入り、勝敗が決着するまで行なう。

荒天・日没 その他の理由により試合続行が不可能となった場合で、まだ試合が成立していないときには、後日前の試合のイニングと経過時間を引き継ぎ、特別継続試合を行なう。

投手の肘・肩の障害を予防するため、投球に関しては日本中学硬式野球協議会が定める『中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン』に従う。
- ・ 試合の予定
試合の予定は毎週水曜日までにブロック長経由で各チームに連絡する。
木曜日まで連絡がないときには、所属するブロック長に問い合わせのこと。
- ・ 中止の決定
第1試合の中止の決定は責任役員、責任審判員、グラウンド責任者が協議の上、原則当日朝8時以降に決定する。
- ・ チームの失格
試合開始予定時刻に不在のチーム及び選手登録証が未提出のチームは失格となり、当日の試合は不戦敗となる。(グラウンド到着後、速やかにメンバー表・選手登録証・チーム登録申請書コピー・投球回数確認シートを提出のこと)
- ・ グラウンド使用料
1試合当たり2,000円をグラウンド提供チームに支払う。
有料球場の場合は1試合当たり5,000円を責任チームに支払う。